

北海道浮魚ニュース

平成 13 (2001) 年度 27 号 (通巻 No.120)

2001 年 11 月 12 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道央日本海スルメイカ調査結果

積丹半島の西北西沖合にスルメイカの高密度群！

2001 年 11 月 7 ~ 9 日に調査船おやしお丸を用いて道央日本海スルメイカ調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

調査点の水温 (図 1)

2 つの調査点の水温は、St.1 で表面 11.6、50m 深 10.3、100m 深 4.1 でした。St.2 は表面 14.4、50m 深 14.5、100m 深 7.9 でした。

スルメイカの分布密度 (図 1)

スルメイカの分布密度 (CPUE: 自動イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は St.1 が 26、St.2 が 4 で、St.1 に高密度群が確認されました。

大きさと成熟割合 (図 1, 2)

スルメイカの外套長 (胴長) 範囲は St.1 が 21 ~ 26cm、St.2 が 19 ~ 27cm でした。モード (最も多く漁獲されたイカの外套長) は 2 調査点ともに 24cm でした。雄の成熟割合は St.1 が 69%、St.2 が 57% でした。

標識放流

11 月 7 日に St.1 でスルメイカの標識放流を行いました。タグは黄色のアンカータグ、番号は中水 5001 ~ 6200 です。再捕された方はもよりの水産試験場までご連絡ください。

(文責: 中央水試資源管理部)

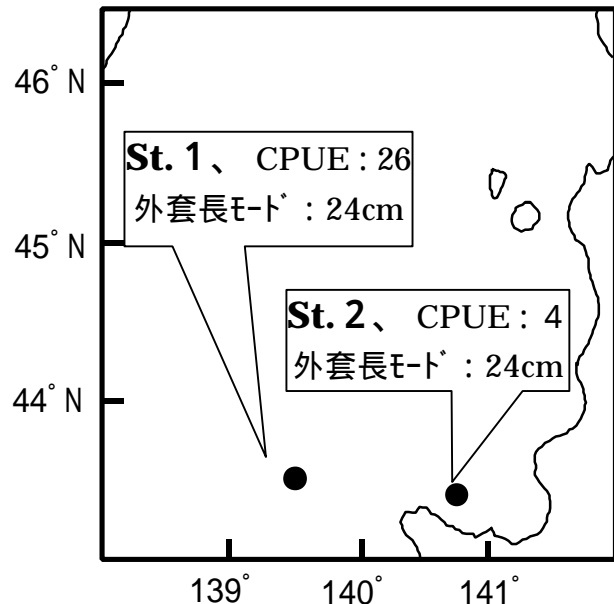


図 1 スルメイカの分布密度と大きさ

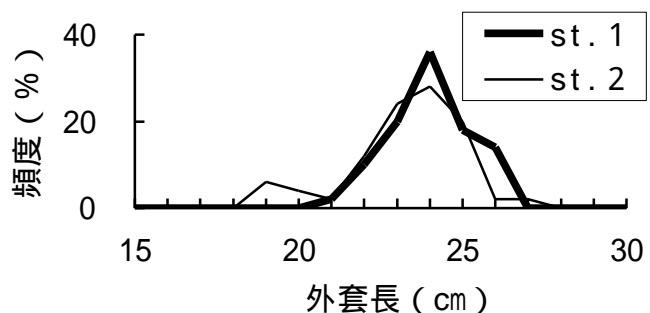


図 2 スルメイカの外套長 (胴長) 組成